



2019年4月24日

各位

会社名 山九株式会社
 代表者 代表取締役社長 中村 公大
 コード番号 9065 東証第1部・福証
 問合せ先 経営管理部長 檜崎 忠彦
 TEL (03) 3536-3904

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年1月31日に公表した業績予想（連結）及び2018年5月10日に公表した業績予想（個別）を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想値の修正について

(単位：百万円)

2019年3月期通期連結業績予想数値の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	557,000	37,000	37,000	24,400	403.27
今回修正予想（B）	572,500	39,200	39,100	27,400	452.85
増減額（B-A）	15,500	2,200	2,100	3,000	—
増減率	2.8%	5.9%	5.7%	12.3%	—
（参考）前期実績（2018年3月期）	531,956	31,581	31,125	19,402	320.63

(単位：百万円)

2019年3月期通期個別業績予想数値の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（C）	390,000	21,500	22,300	15,000	247.91
今回修正予想（B）	408,100	24,900	26,400	19,500	322.28
増減額（B-C）	18,100	3,400	4,100	4,500	—
増減率	4.6%	15.8%	18.4%	30.0%	—
（参考）前期実績（2018年3月期）	375,385	20,496	21,485	13,065	215.42

(A) 2019年1月31日修正公表 (B) 2019年4月24日修正公表 (C) 2018年5月10日公表

業績予想の修正理由

2019年3月期通期の業績予想につきましては、物流事業では新規航路を含む主要船社のコンテナ取扱量が好調に推移し、海外におけるプロジェクト輸送、海外向けの設備輸出作業の受注もあり、前回予想を上回る見通しです。又、機工事業では今年度は石油・石化構内設備のSDM（大型定期修理工事）がメジャー年で、追加・周辺付帯工事等の獲得もあり、前回予想を上回る見通しです。個別業績予想の修正に加え、子会社の業績が総じて堅調であったことなどから、連結業績予想においても前回予想を上回る見通しです。

(注) 上記予想は、確定決算に基づく数値ではないため、実際の業績とは異なる可能性があります。

以上